

## 平成28年度 専門学校させば公務員オブビジネス 学校評価

## 1. 学校教育基本方針

豊かな人間教育を基盤とし、確かな専門技術を通じて、地域社会に貢献できる人材を育成する。

## 2. 学校教育目標

1. 学生一人ひとりの目標や夢の実現を目指す。
2. 感謝する心と社会人としての基本的なマナー。
3. 情操豊かな人間性の育成

## 3. 重点努力目標

公務員初中級ビジネス本科	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公務員試験一次合格率100%</li> <li>2. 公務員内定 および 就職100%</li> <li>3. 社会人としての基本的マナーの育成</li> </ol>
公務員初中級ビジネス科	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公務員試験一次合格率100%</li> <li>2. 公務員内定 および 就職100%</li> <li>3. 社会人としての基本的マナーの育成</li> </ol>

## 4. 総括

具体的実施方法については、学生アンケート、保護者アンケート、学生による授業評価等であり、これからの開かれた学校を築く上で非常に有用な情報を得ることができた。保護者・学生アンケートでは、保護者、学生ともに84%の評価をいただくことができた。また、学生の本校への満足度では5段階中4.0の評価を得ることができた。来年度も今年度の結果を踏まえて、さらなる改善を推し進めていく。

## 5. 本年度総合評価（成果と課題）

## ①成果

全体として多くの成果を得ることができた。特にアンケートは、内容を吟味し、回答者が応えやすいように記述欄を少なくした。保護者、学生の生の声は職員全体の共通意識として回覧し、動機づけを徹底した。

また、保護者との連携を図るため「IBA通信」の発行や、模試の結果を保護者あてに郵送し、公務員試験に学生、学校、保護者が一体となって取り組むよう動機づけを行った。さらに、年に3回の保護者会を実施し、学生の問題点や学校への要望など直接聞くことができ、情報の共有と連携が密にできるようになった。

## ②課題

解決すべき課題としては保護者の要望として、学生の社会人としての意識の向上を挙げ、学校側にその対策を求めていることがアンケートにより確認できた。また、学生からも、規律正しい生活の指導の要望があり、改善に向けて検討したい。公務員試験2次面接試験の合格に繋げるためにも、日々の規律ある生活態度は有効である。社会人になることを意識づけ、挨拶、マナーの徹底を目指す。次年度は、外部実習、外部研修を取り入れ、学生の質の向上を図る。他には、この2年間実施してきた、放課後ゼミの内容に満足度が低いため、改善を行いたい。

## ③重点努力目標成果

科名	重点努力目標	成果等
公務員初中級ビジネス本科	1. 公務員試験一次合格率 100% 2. 就職内定率 100% (民間企業含む) 3. 社会人としての 基本的マナーの育成	1. 76.5% 2. 92.6% ※ 3. おおむね達成
公務員初中級ビジネス科	1. 公務員試験一次合格率 100% 2. 就職内定率 100% (民間企業含む) 3. 社会人としての 基本的マナーの育成	1. 80% 2. 84.2% ※ 3. おおむね達成

※進学を除く。

## 6. 次年度に向けた課題・改善

### ①課題

- A. 受験指導では、動機づけを行い、1次試験のための学力を向上させる。
- B. 面接指導、就職指導を早くから取り掛かり、学生一人ひとりの希望に沿った就職先指導と、内定獲得を目指す。
- C. 学生の日々の生活から規律を守り、集団の一員としての調和・協調性を動機づける。

### ②改善方策等

- A. 個々人の学力をアップさせるために、個別指導、補習を取り入れる。
- B. 放課後ゼミの実施により、苦手科目や、個々人の課題をサポートする。
- C. 就職指導担当と担任の連携を取り、全職員で面接練習を早くから取り掛かる。(面接スタンプリー) 4月から就職への動機づけを行い、内定までのサクセスプランを立てる。
- D. 面接指導専門官による、4月からの面接練習を取り入れる。
- E. 官庁訪問、業務説明会への参加を呼びかける。
- F. 保護者会、保護者面談を実施して、保護者とのコミュニケーションをはかる。また、昨年同様年間3回の保護者会を実施する。IBA通信の内容をしっかりと吟味し、学校の活動状況を、詳しくタイムリーに保護者に知らせる。公務員試験についての理解を深めてもらうために、講演会などの案内をし、参加の呼びかけをおこなう。

以上